

も たに

母谷たつりの後援会便り

平成17年(2005年) 4月 Vol.19
 発行 母谷たつりを育てる会
 ホームページ <http://www.motani.jp>
 編集 岡田 孝



市政報告

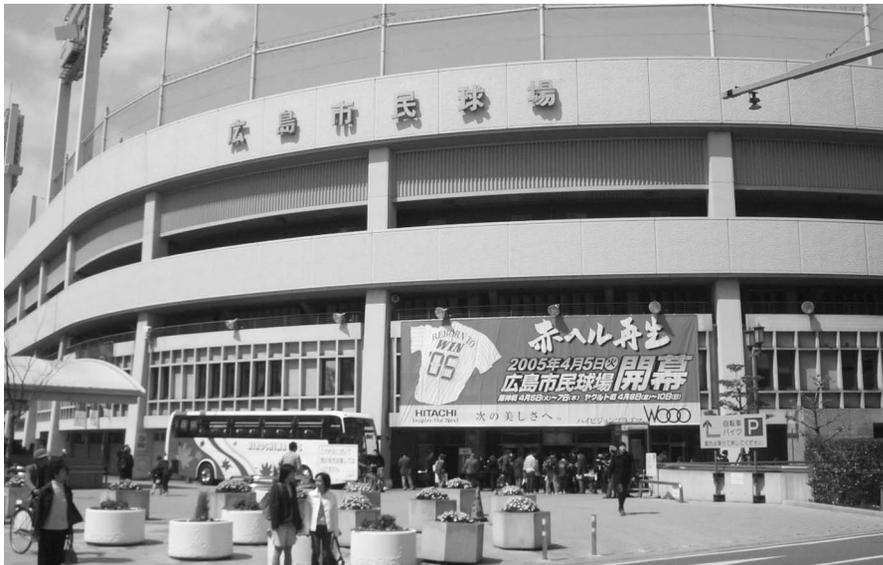
謹 啓

3月25日、愛知万博「愛・地球博」が日本で35年ぶりに華々しく開幕いたしました。1万8千年前に生存したマンモス象の頭と足がシベリア永久凍土からそのままの状態で見つけられ展示されることで世界の注目を集めています。人気のパビリオンなどは最初から数時間待ちでインターネットでの予約をしなければ入ることのできない施設もあるようです。9月25日までの開催期間中に博覧会協会では1,500万人の入場者数を見込んでいるようですがこの機会に是非一度は行ってみたいものですね。

さて、広島市議会第1回臨時会は平成17年2月7日召集され、当初2日間の会期で開会されました。議案の内容は佐伯郡湯来町との合併関連3議案について審議の上、議決することが予定されていました。これに先立ち、1月24日には広島市と湯来町の間で合併協定書に調印が交わされ、2月2日には湯来町議会での議決もなされていました。

議案の一つ目は「湯来町を廃し、広島市佐伯区に編入することを広島県知事に申請しようとするもの」です。二つ目は「合併に伴う湯来町の財産処分についてその全てを広島市に引き継ぐことを定めようとするもの」です。三つ目は「合併に伴う議会の議員及び農業委員会の委員の定数及び任期の特例の経過措置について定めようとするもの」でした。

3議案は本会議に上程され、その後順調に所管する総務委員会に付託がなされ一旦可決されました。ところが2月8日になって合併関連議案のうち三つ目の内容に不具合のあることが発見され、本会議直前、同委員会に差し戻され再審査の上、この議案は否決となりました。種々論議が交わされ、途中秋葉市長の不規則発言もあったりで中断も含め総務委員会が閉会したのは翌未明の午前3時20分でありました。さあ、これからが大変です。このままでは合併できない湯来町では翌朝すぐにこの連絡を受けた議員が急遽召集され、議会内の手続きがやり直されました。その後、



夢と希望にあふれる新球場建設に期待が寄せられています

再度合併協議会が開催され、お昼前になって双方が合併協定書に再調印を済ませることができたことから、当初上程された三つ目の議案は撤回されて新たな議案が提出されることになりました。これにより湯来町との合併関連3議案は本会議で議決されましたが日程は1日間延長されました。翌日の2月10日には早速、広島県知事に対して合併申請が行われ、受理されたことに伴い4月25日の合併が正式に確定いたしました。

つづいて同日には広島市議会第2回定例会の召集告示がなされ、2月17日から37日間の会期が決定されるとともに総括質問や2月補正予算の審議、議決の後、新年度予算の審議を行う予算特別委員会が設置されました。

今回の焦点はなんと言っても介護保険料の引き上げ問題に尽きると思います。

広島市は平成15年度から17年度までの3年間で給付総額を約1,541億円と見込み1号被保険者(65歳以上)の保険料不足額が35億円になると試算し、県の介護保険財政安定化基金から15億円を借入れ、残り20億円を保険料の引き上げで賄うこととし、この場合月額で983円の引き上げが必要としていました。一方議会は①平成15年度に893円値上げしている ②既に現在の保険料3,887円は政令市でトップとなっている ③今回の改定は1年前倒しである上に高額である ④介護保険財政の健全化 ⑤介護保険運営の適正化などを求め激しく反論しました。このままでは際限なく保険料が引き上げられるという危機感を抱かざるを得ず、介護保険事業計画の抜本的改善を求めるため今年の値上げを据え置いてはどうかとの提案もいたしました。多くの利用者に対し破綻させることは避けなければならない為、苦渋の選択をせざるを得ませんでした。しかしながら今議会で浮き彫りになったのは介護保険が始まった平成12年度からの

5年間で要支援と要介護1の認定者数が倍以上の17,152人となり、要介護認定者数全体の約51%を占め運営を圧迫していることです。介護認定のあり方やケアプランの内容を精査し適正化を図ることや介護予防の促進に取り組むと同時に原爆被爆者の方の介護出現率は一般のそれに比べて約40%も高くなっていることから原爆被爆者に対しては国の責任としてその給付費用を負担するよう強く求めることなどを盛り込みました。その結果、今年度の給付総額を10億円抑制し、その保険料を月額で84円圧縮する修正可決をいたしました。

このほか新年度の一般会計予算で5件を削除又は修正し、2件の条例案を否決いたしました。今年度の当初予算案は昨年度に引き続き2年連続の修正可決となりましたが、ここまで大幅な削除又は修正、否決は正に異常事態であり、秋葉市長に対する議会の不信任が最高潮に達しているメッセージとなっています。

その他懸案の直轄国道事業整備負担金のあり方や高速3号線の整備と西飛行場の問題、広島高速交通株式会社と広島駅南口開発株式会社の経営健全化問題など市政は益々衰退と悪化の一途を辿っています。

また、独立行政法人「国立大学財務・経営センター」から広島大学本部跡地の取得に関する意思回答期限を3月末とされておりましたが、再々延期を要請して結論を先送りし決断力の無さを露呈しています。「知の拠点」は地元6大学連合の構想によるものであり、広島市に取得財源もその意思も無いことは明白であります。

今後は新球場建設促進会議の示した最終取りまとめを広島市がどのように受け止めてスピーディで活力ある事業展開を図るかが注目されています。 謹 白

広島市議会議員 母谷龍典

ご意見 お願いは **いい汗流そう!! いい笑顔つくろう!!** 私が直接 返事します
母谷たつりのホットライン あなたの声を聞かせて下さい。ダイレクトメール mokkun@cc22.ne.jp へ

湯来町合併関連議案の説明

問題となった三つ目の議案は第129号議案で「広島市及び佐伯郡湯来町の配置分合に伴う経過措置に関する協議について」というもので①「議会の議員の定数及び任期の取り扱い」、②「農業委員会の委員の定数及び任期の取り扱い」を決めるという内容です。

提案された議案のなかで問題になったのは①についてであります。

1月24日双方で合併協定書に調印された内容は湯来町を広島市佐伯区への編入合併とし、湯来町議会議員の在任特例を採用しないで編入合併特例定数を採用することになっていました。しかし、これは現在の広島市議会議員の残任期間（平成19年5月1日まで）と合併後最初に行われる一般選挙により選出される議員の任期の期間（平成19年5月2日から平成23年5月1日）まで湯来町を選挙区として選挙人1人を選出することが拘束されることとなります。

したがって現在の広島市議会における条例定数は60人（法定定数は64人）に1人を加えた61人が広島市議会の議員定数として平成23年5月1日まで固定化され、法律上その間の定数変更ができなくなります。

広島市議会では昨年3月25日に「広島市議会議員定数の削減に関する決議案」を可決しており、そのなかで『平成17年の国勢調査の結果が判明次第、大幅な議員定数の削減を図ること』を表明しておりますことから、この議案は一旦否決した後現在の広島市議会議員の残任期間を任期とする内容に変更したものであります。

平成17年第2回定例会

予算特別委員会と本会議で修正及び削除、否決された案件

項 目	広島市の原案	市議会の可決内容
1. 介護保険料の引き上げ (一般会計・介護保険事業特別会計)	65歳以上の基準月額3,887円を983円引き上げて4,870円に25%引き上げる	給付総額を1割(約40億円)圧縮し基準月額を4,786円に23.1%引き上げる
2. 事業ゴミ処分手数料 (一般会計)	指定袋制の導入・処分手数料の25%up 10kg迄毎に105円(税込)	指定袋制の導入・処分手数料の16.7%up 10kg迄毎に98円(税込)
3. 折り鶴の保存展示 (一般会計)	アストララインの長楽寺車輛基地への展示費1,997万円を計上	削除
4. 広島平和コンサート2005 (一般会計)	8月5日、6日実施予定合計で4,119万円を計上	8月5日の2,820万円を削除
5. 家庭ゴミ指定袋導入のPR (一般会計)	事業費461万円を計上	削除
6. 平和大通りリニューアル事業 (一般会計)	整備費2,440万円を計上	クリスタルプラザ周辺整備費1,940万円を削除
7. 原爆資料館の入館料 (条例)	大人50円を無料化	現行どおり
8. 消費生活センターの移転 (一般会計・条例)	市役所北庁舎への移転費用2,563万円を計上	削除

母谷たつりのり連絡先

広島市佐伯区美鈴が丘西五丁目17番12号 ☎929-9002
E-mail mokkun@cc22.ne.jp FAX 929-9002

市議会

☎504-2443
FAX 244-1419

広島市議会ホームページ <http://www.city.hiroshima.jp/gikai/index.html>
母谷たつりのりホームページ <http://www.motani.jp>